

上映会「ゆずり葉」 - 君もまた次のきみへ -

手話講座や手話に関するお話などもりたくさんあります！

- ・日時：2019年3月17日（日）
14:00～16:30
（開場13:00～）
- ・会場：西宮市勤労会館 大ホール
西宮市松原町2-37
JR西宮駅南口から徒歩5分、
阪神西宮駅東出口から徒歩6分
- ・鑑賞料 大人1,000円
子ども（18歳まで）500円
～手話通訳・要約筆記が付きます～



（問合せ先） 公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会
神戸市中央区相生町2丁目2番8号
新神戸ビル東館2階
TEL: 078-371-5613 FAX 078-371-0277

(一財)全日本ろうあ連盟は、長い間、聴覚障害者への差別と偏見にたたかい、その権利確立と社会の促進に取り組んできました。また、映画「ゆずり葉」「段また段を成して」を手がけ、多くの国民に手話や聞こえない事理解を促進してきました。

今回は「ゆずり葉」を上映いたします。この映画は、聞こえる人、聞こえない人も楽しめ、多くの方々に人と人のつながりの大切さや希望を与えてくれます。ミニ講義やミニ手話講座もしますのでご家族や友人を誘いあってください。ご来場をお待ちしております。

～あらすじ～

ある夏の暑い日の工務店。63歳のベテラン大工、敬一（庄崎隆史）が突然倒れた。入院を拒む敬一は、最愛の恋人（今井絵理子）を病気で亡くした過去を引きずっていた。それは昭和40年代にさかのぼる。字幕がついていなかった映画を敬一の耳になって通訳してくれた早苗と将来を約束するものの、早苗の両親はろう者である敬一との結婚を決して許さなかった。「私たちにも運転免許を！」ろうあ者の権利を訴える運動の記録映画を撮影していた敬一が夜遅く帰宅したとき、早苗が意識不明で倒れていた。敬一の子どもを身ごもっていた早苗は息を引き取ってしまった。

30余年たった1999年、その年は運転免許や民法11条改正などを勝ち取ってきたろう者と手話通訳者の差別法令改正運動が頂点に達した年でもあった。全国からの署名が150万を超えるとき、運動家の大川は早苗の死で中断した記録映画を、この大きなうねりの中で完成させたいと、敬一に続きを撮ってほしいと訴えた。すでに肺がん侵されていた敬一は迷った。そんな時、敬一は薬剤師試験に合格しながらも欠格条項により国家資格を却下された尚美（貴田みどり）に出会う。また自分の気持ちを舞台上で表現したくてもオーディションになかなか受からないでいる吾朗（福島一生）にも出会った。いま自分がやらなくて誰ができるというのだ！このまま何もしないで天国で早苗に合わせる顔があるのか……。敬一はカメラをもって立ち上がった。記録映画を完成させて次の若い世代に手話と仲間の大切さを伝えていくために。

参加申込書

準備の都合上、**3月15日（金）**までに**FAX (078) 371-0277** にお願ひします。

お名前		聴覚障害者 ・ 聞こえる人	地域名（ ）
お名前		聴覚障害者 ・ 聞こえる人	地域名（ ）
お名前		聴覚障害者 ・ 聞こえる人	地域名（ ）
連絡先	TEL/FAX：（ ）		